年　　月　　日

部局名・職名：

申請者名：

書籍等出版費用支出申請書

１．書籍等の名称

|  |
| --- |
|  |

２．著者・著作権者・編者（主たる者）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 著者・編者 | 著作権者 | 氏名 | 所属機関 | 部局 | 職名 |
| 著[ ]  編[ ]  |[ ]   |  |  |  |
| 著[ ]  編[ ]  |[ ]   |  |  |  |
| 著[ ]  編[ ]  |[ ]   |  |  |  |
| 著[ ]  編[ ]  |[ ]   |  |  |  |

３．書籍等の出版要件について

当該書籍等の出版は、以下の要件を全て満たしています。　※各項目にチェックを入れてください

[ ] 当該研究の成果公開のために必要な書籍等であること。

[ ] 下記に該当する書籍等ではないこと。

① 既に類似の成果が刊行されているもの

② 既にインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文、又は公表が義務付けられている論文（例：博士論文）を単に集成し、刊行するもの

③ 学術研究の成果とは言い難いもの

④ 出版社等の企画によって刊行するもの

⑤ 市販しないもの

⑥ 十分に市販性があるもの

[ ] 印税及び一切の利益を受け取らないこと。また、その旨を出版社等との契約書に明記すること。

[ ] 見積額が書籍等出版の適正価格であること。

[ ] 他者の論文等を引用している部分があり、かつ引用した論文等の著作権者の許諾を受ける必要がある場合は、必ず利用許諾を受けておくこと。

[ ] 紙媒体で刊行する場合、発行部数のうち市販以外の部数は３０部までであること。

[ ] 市販以外の配布先がある場合は、出版社等との契約書に配布先リストを添付すること。

[ ] 発行予定年月日は、支出する研究費の提供元が定める執行可能期間内であること。また、書籍等の納品及び検査は、支出する研究費の提供元が定める執行可能期間内に行うこと。ただし、支出する研究費の提供元の定めにより、執行可能期限内に出版社等への支払まで完了させる必要がある場合は、書籍等の納品及び検査の後、執行可能期限の3週間前までに経理課へ支払に必要な会計書類一式の提出が可能であること。

４．出版経費等について

|  |  |
| --- | --- |
| 刊行物の媒体※いずれかにチェック | [ ] 紙媒体を含む　　[ ] 電子媒体のみ |
| 判型・ページ数 |  | 判 |  | ページ |
| 発行部数 | 市販用 |  | 部 | その他 |  | 部 |
| 合計【C】 |  | 部 |
| 出版経費等※紙媒体を含む場合 | 直接出版費（税込）【A】 | 定価（税込）【B】 | 卸売価格（税込）（卸売価格≧1部あたりの原価） |
|  | 円 |  | 円 |  | 円 |
| 1部あたりの原価【A】/【C】 | 申請上限額【A】-｛【B】×0.7×0.5×(【C】×0.6)｝ | **申請額** |
|  | 円 |  | 円 |  | **円** |
| 出版経費等※電子媒体のみの場合 | 直接出版費（税込）【A】 | 販売価格（税込）【B】 |
|  | 円 |  | 円 |
| 申請上限額【A】×0.8 | **申請額** |
|  | 円 |  | **円** |
| 出版社等への原稿受渡し日 | 　　年　　月　　日 |
| 発行予定年月日 | 　　年　　月　　日 |
| 出版社等名 |  |
| 過去に公開済み、または公開が義務付けられている論文等の内容を含みますか？ | [ ] はい　　[ ] いいえ | ※「はい」の場合[ ] 引用について著作権者より承諾済み |

５．出版経費の財源について

|  |  |
| --- | --- |
| 支出財源※いずれかにチェック（大学による助成が実施されない年度は（１）又は（２）を選択） | [ ] （１）競争的研究費、その他特定の研究課題に紐づく外部資金[ ] （２）特定の研究課題に紐づかない外部資金[ ] （３）運営費（大学からの助成） |
| プロジェクトコード※（１）又は（２）の場合 |  |
| 研究課題名※（１）の場合 |  |
| 外部資金制度名又は助成元※（１）又は（２）の場合 |  |
| 上記制度等の提供元は書籍等の出版費用の支出を認めていますか？※（１）又は（２）の場合 | [ ] はい　　[ ] いいえ |
| 支出財源は書籍等の出版助成を目的とする外部資金ですか？※（１）又は（２）の場合 | [ ] 出版助成が目的ではない　[ ] 出版助成が目的である |

６．書籍等の概要　※１頁以内で記述してください

①出版の必要性

・研究成果公開の方法として書籍等の出版が必要な理由を記述してください。

・科学研究費補助金（研究成果公開促進費）学術図書及びその他書籍等の出版助成を目的とする外部資金への応募を行わず、本制度を申請する理由を記述してください。

②書籍等の概要

・当該書籍等の概要について、簡潔に記述してください。

・「５．出版経費の財源について」の支出財源で（１）を選択した場合は、その財源と書籍等の内容との関連性について記述してください。